令和4年度　事業報告書（報告の概要）

自　令和4年4月1日
至　令和5年3月31日

本事業年度における事業の概要は、次のとおりです。

1　配合飼料価格差補てん事業（定款第４条第１項第１号事業）

（１）配合飼料価格差補てん数量契約

①　加入者件数

加入者件数は、530 件で前年度に比べて 35 件増加し、その主な増減は、肉用牛で 41 件増加し、乳用牛で５件減少しました。

畜種	加入者件数（件）		
	令和４年度（A）	令和３年度（B）	増減（A－B）
乳用牛	84	89	△ 5
肉用牛	329	288	41
豚	47	49	△ 2
採卵鶏	24	25	△ 1
肉用鶏	44	43	1
その他	2	1	1
計	530	495	35

②　契約数量

契約数量は 708,181 トンで、前年度に比べて 8,665 トン減少しました。畜種別の主な増減は、肉用牛と豚で増加しましたが、高病原性鳥インフルエンザが発生した採卵鶏で大きく減少しました。

（単位：トン）

畜種	令和４年度四半期別					令和３年度	増減
	第１	第２	第３	第４	合計（A）	合計（B）	（A－B）
乳用牛	5,758	5,752	5,665	5,647	22,822	23,598	△ 776
肉用牛	28,192	28,158	28,454	28,533	113,337	111,410	1,927
豚	55,227	55,923	57,052	56,456	224,658	223,890	768
採卵鶏	34,079	34,347	34,487	31,600	134,513	145,638	△ 11,125
肉用鶏	52,212	49,678	55,255	55,106	212,251	212,190	61
その他	150	150	150	150	600	120	480
計	175,618	174,008	181,063	177,492	708,181	716,846	△ 8,665

（２）通常補てん積立金

各青森県飼料荷受組合を通じて契約数量にトン当たり 600 円を乗じた額の積立金を第１四半期から第４四半期までの総額で 424,908,600 円を徴収し、一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金（以下「全日基」という。）に納付しました。

（単位：トン、円／トン、円）

四半期	契約数量	単価	積立金額	納付年月日
第１	175,618	600	105,370,800	R4.4.26
第２	174,008	600	104,404,800	R4.6.27
第３	181,063	600	108,637,800	R4.9.29
第４	177,492	600	106,495,200	R4.12.27
合計	708,181	－	424,908,600	－

（３）補てん金の交付

①　輸入原料価格及び補てん金単価

第１四半期から第４四半期を通じて平均輸入原料価格が基準輸入原料価格を上回ったことから通常補てん及び異常補てんとも発動がありました。また、補てん金の単価は、第１四半期から第３四半期までトン当たり７千円を上回り、特に第２四半期は、トン当たり 16,800 円の大きな補てんとなりました。

（単位：円／トン）

項目／四半期	第１	第２	第３	第４
平均輸入原料価格（A）	50,462	60,846	63,264	55,464
基準輸入原料価格（B）	40,623	44,000	48,654	54,497
価格差（A－B）	9,839	16,846	14,610	967
通常補てん金単価	5,039	5,454	7,254	628
異常補てん金単価	4,761	11,346	496	322
合　　計	9,800	16,800	7,750	950

なお、全日基では、配合飼料価格の高騰が続く中、補てん財源の不足が見込まれることから、借入金額を極力圧縮するために通常補てん金の単価を４分割して四半期毎に交付することとしました。

別表１には、「一括補てん」と「分割補てん」の単価の比較を示しましたが、第３四半期までは一括補てんに比べて交付単価が減額されていますが、第４四半期以降増額となり、最終的には令和５年度の第２四半期で単価の総額が一致します。

別表１　一括補てんと分割補てんの単価の比較

（単位：円／トン）

区分	一括補てん				分割補てん							増減（A－B）
					通常補てん（分割）					異常補てん（一括）	補てん額計（B）	
	四半期	通常補てん	異常補てん	補てん額計（A）	第１分	第２分	第３分	第４分	小計			
令和4年度	第１	5,039	4,761	9,800	1,262	0	0	0	1,262	4,761	6,023	△ 3,777
	第２	5,454	11,346	16,800	1,259	1,365	0	0	2,624	11,346	13,970	△ 2,830
	第３	7,254	496	7,750	1,259	1,363	1,815	0	4,437	496	4,933	△ 2,817
	第４	623	327	950	1,259	1,363	1,813	0	4,435	327	5,385	4,435
	計	18,370	16,930	35,300	5,039	4,091	3,628	0	12,758	16,930	30,311	△ 4,989
〔参考〕令和5年度	第１	0	0	0	0	1,363	1,813	0		0	3,176	3,176
	第２	0	0	0	0	0	1,813	0		0	1,813	1,813
	第３	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	第４	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	計	0	0	0	0	1,363	3,626	0	0	0	4,989	4,989

（注）1. 令和４年度第４四半期は分割なしの一括補てんで、前３期の分割分を加えて交付。
2. 令和５年度は、令和４年度の通常補てんの繰延分(概算)のみを参考として示した。
3. 分割補てんの第１分とは、第１四半期の通常補てん単価を４分割したことを表わし、第２分以下も同じ。

②　補てん金の交付額

別表２には、四半期毎の通常補てん金と異常補てん金の交付額を示しました。

四半期毎の補てん金交付額の合計は、第１四半期が 985,437,151 円、第２四半期は 2,237,391,505 円、第３四半期は 815,892,878 円、第４四半期が 899,389,816 円となり、補てん金交付額の総額は、4,938,111,380 円となりました。

別表２　補てん金の交付額

（単位：kg、円／トン、円、件）

四半期	通常補てん金			異常補てん金		交付額合計	交付件数	交付年月日
	交付単価	対象数量	交付額	対象数量	交付額			
第１	第1分	163,612,385	206,478,716	163,612,385	778,958,435	985,437,151	516	令和4年8月17日
第２	第1分	163,612,385	206,450,895	159,741,635	1,812,577,094	2,237,391,505	521	令和4年11月17日
	第2分	159,754,735	218,363,516					
	計		424,814,411					
第３	第1分	163,428,494	205,768,301	169,825,368	84,233,284	815,892,878	518	令和5年2月17日
	第2分	159,681,751	217,658,346					
	第3分	169,825,368	308,232,947					
	計		731,659,594					
第４	第1分	163,418,994	205,744,381	161,238,690	52,724,922	899,389,846	517	令和5年5月17日
	第2分	159,677,251	221,511,532					
	第3分	169,825,368	318,957,438					
	第4分	161,238,690	100,451,573					
	計		846,664,924					
合計			2,209,617,645	654,418,078	2,728,493,735	4,938,111,380	2,072	－

（注）交付単価の第１分は、第１四半期の交付単価を４分割した単価(別表１参照)を示す、第２分以降も同じ。

（４）別途納付金

別途納付金の納付は、納付の対象となる飼料基金への新規加入者がなかったことから、ありませんでした。

（５）基金間移動

基金間移動は、「商系基金」「全農基金」「畜産基金」の３基金間を年度初め（第１四半期）と下期（第３四半期）に限り移動できるもので、令和４年度は、転入・転出が各２件で、転出入の差は１１６トンの増加となりました。

（単位：件、トン）

移動時期	移動区分	件数	転出入先	畜種	移動数量
第１四半期	転入	1	全農基金	肉用牛	12
	転出	1	全農基金	肉用牛	12
		1	畜産基金	肉用牛	4
	計	2	－	－	16
第３四半期	転入	1	畜産基金	乳用牛	120
合計	転入	2	－	－	132
	転出	2	－	－	16
	転出入の差	0	－	－	116

２　畜産経営安定対策事業（定款第４条第１項第２号事業）

（１）肉用子牛生産者補給金制度

① 負担金及び手数料

（単位：頭、円／頭、円）

品　種	登録頭数	負担金単価	負担金	手数料	納付金額
黒毛和種	1,161	400	432,400	348,300	780,700
その他肉専用種	15	4,700	70,500	4,500	75,000
乳用種	1,657	1,700	2,816,900	497,100	3,314,000
交雑種	1,238	800	990,400	371,400	1,361,800
合　計	4,071	－	4,310,200	1,221,300	5,531,500

（注）黒毛和種80頭分の負担金32,000円 については、県畜産協会の準備金から繰入れ

② 生産者補給金の交付

令和４年度は、子牛価格の低下に伴い、第２四半期から第３四半期において対象頭数 571 頭に対して総額 10,268,500 円の生産者補給金が交付されました。

（単位：人、頭、円／頭、円）

四半期	品種区分	生産者数	対象頭数	単価	金額
第２	乳用種	3	481	14,500	6,974,500
第３	乳用種	3	90	36,600	3,294,000
合　計		6	571	－	10,268,500

③ 受託事務費

（単位：頭、円/頭、円）

受託事務対象経費	対象頭数	単価	受託事務費
個体登録頭数	3,651	500	1,825,500

④ 優良子牛生産推進緊急対策事業

本事業は、新型コロナウイルス感染症による子牛価格の下落に対応するため肉用子牛生産者補給金制度を補完する事業として令和２年度に創設されました。

事業内容は、子牛の全国平均価格（月別）が発動基準を下回った場合に、経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対して販売頭数に応じた奨励金（１万円/頭又は３万円/頭）を交付するものです。

品種区分	発動基準① （奨励金単価：1万円/頭）	発動基準② （奨励金単価：3万円/頭）
黒毛和種	６０万円	５７万円
その他肉専用種	３５万円	３４万円
乳用種	１８万円	１７万円
交雑種	３０万円	２９万円

令和４年度は、対象頭数 243 頭に対して８月分、９月分として 7,290,000 円の奨励金が交付されました。

（単位：人、頭、円／頭、円）

品種区分	生産者数	対象頭数	単価	金額	備考
乳用種	1	243	30,000	7,290,000	８月分、９月分

（２）肉用牛肥育経営安定交付金制度

① 生産者負担金（積立金）及び手数料

（単位：頭、円）

品種	対象頭数	生産者負担金	手数料	納付金額
肉専用種	3,737	63,397,000	2,298,255	65,695,255
交雑種	3,907	74,059,000	2,402,805	76,461,805
乳用種	8,757	166,383,000	5,385,555	171,768,555
合　　計	16,401	303,839,000	10,086,615	313,925,615

（注）1.生産者負担金の単価（1頭当たり）
肉専用種　17,000円、交雑種 19,000円、乳用種 19,000円
ただし、早出し牛(5月まで)：肉専用種　5,000円、交雑種 13,000円、
乳用種　11,000円
2.手数料の単価　615円/頭

② 交付金の交付額

令和４年４月期から令和５年３月期までに交付された交付金は、対象頭数15,336頭に対して536,859,487円となり、品種別では肉専用種が128,137,189円、交雑種が60,041,787円、乳用種が348,680,511円でした。

なお、これまで本交付金は年次集計していましたが、今後は年度集計とすることとし、各月期別及び品種別頭数の交付額の内訳を示した別表３は、年次及び年度の両方の集計を記載しました。

③ 受託事務費

受託事務費は３種類あり、賃金、通信運搬費及び消耗品費を対象とした事務費は143,000円、個体登録頭数を対象とした事務費は、対象頭数が17,327頭で１頭当たりの単価が142円であることから2,460,434円、負担金及び手数料を徴収する事務費は、対象頭数が16,401頭で１頭当たりの単価が205円であることから3,362,205円となり、合計で5,965,639円でした。

（単位：円、頭、円/頭）

受託事務対象経費	対象頭数	単価	事務費計
賃金、通信運搬費、消耗品費	－	－	143,000
個体登録	17,327	142	2,460,434
負担金・手数料徴収	16,401	205	3,362,205
合　計	－	－	5,965,639

別表３　牛マルキンの交付金交付額（令和４年１月期～令和５年３月期）

（単位：頭、円／頭、円）

区分		肉専用種			交雑種			乳用種			合計	
		頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	金額
令和4年	１月期	227	0.0	0	308	0.0	0	732	50,295.6	36,577,474	1,267	36,577,474
	２月期	233	0.0	0	316	12,519.9	3,956,282	684	51,054.3	34,921,139	1,233	38,877,421
	３月期	270	0.0	0	366	0.0	0	709	50,246.1	35,611,922	1,345	35,611,922
	４月期	318	0.0	0	380	0.0	0	698	39,903.3	27,852,502	1,396	27,852,502
	５月期	229	0.0	0	364	0.0	0	616	42,264.9	26,035,176	1,209	26,035,176
	６月期	271	0.0	0	380	30,939.3	11,749,192	704	43,892.1	30,900,037	1,355	42,649,229
	７月期	360	0.0	0	248	34,163.1	8,472,444	711	38,371.5	27,282,135	1,319	35,754,579
	８月期	293	68,237.1	19,976,407	231	43,261.2	9,993,331	681	44,452.8	30,272,355	1,205	60,242,093
	９月期	274	31,161.8	8,538,272	228	21,557.7	4,915,150	697	40,458.8	28,199,643	1,199	41,653,065
	１０月期	354	32,694.3	11,573,777	288	10,291.5	2,963,950	562	43,010.1	24,171,675	1,204	38,709,402
	１１月期	433	11,611.8	5,027,904	242	1,765.8	427,318	625	36,964.8	23,102,998	1,300	28,558,220
	１２月期	414	24,188.4	10,013,993	333	0.0	0	713	49,166.1	35,055,427	1,460	45,069,420
	年次計	3,676	－	55,130,353	3,684	－	42,477,667	8,132	－	359,982,483	15,492	457,590,503
令和5年	１月期	270	73,163.7	19,754,193	280	12,947.4	3,625,265	588	43,470.9	25,560,888	1,138	48,940,346
	２月期	260	99,430.2	25,851,847	308	46,034.1	14,178,497	642	49,992.7	29,527,311	1,210	69,557,655
	３月期	268	102,241.8	27,400,796	356	10,440.0	3,716,640	717	56,792.7	40,720,364	1,341	71,837,800
令和４年度計		3,744	－	128,137,189	3,638	－	60,041,787	7,954	－	348,680,511	15,336	536,859,487

（３）肉豚経営安定交付金制度

① 肉豚生産者数及び事業対象頭数（年間契約頭数）等

（単位：戸、頭、円/頭）

肉豚生産者数	事業対象頭数	負担金	事務委託費
27	368,927	400	10

② 負担金及び事務委託費の徴収

（単位：頭、円）

四半期／項目	納付対象頭　　数	負担金（単価 400円/頭）	事務委託費（単価 10円/頭）	合　　計
第１	88,162	35,194,800	881,620	36,076,420
第２	87,625	34,977,500	876,250	35,853,750
第３	99,066	39,556,400	990,660	40,547,060
第４	94,074	37,564,600	940,740	38,505,340
合計	368,927	147,293,300	3,689,270	150,982,570

③ 交付金の交付

（単位：円/頭、円/kg、kg）

項目／四半期	第１	第１～第２	第１～第３	第１～第４
標準的販売価格（A）	40,707	42,428	42,008	41,746
平均枝肉価格	521	550	543	536
平均枝肉重量	76.4	75.5	75.7	76.2
標準的生産費　（B）	38,233	38,830	39,429	39,805
差　　額（C＝A-B）	2,474	3,598	2,579	1,941
交付金（C×0.9）	なし（A>B）	なし（A>B）	なし（A>B）	なし（A>B）

３　畜産高度化支援リース事業（定款第４条第１項第３号事業）

（１）貸付料及び譲渡代金

令和４年度は、貸付料等が２９件で金額は 42,546,145 円、譲渡代金は３件で、2,013,552 円、合計で 44,559,697 円を整備機構に納付しました。

（単位：件、円）

区分	内　訳	件数	金額
貸付料等	基本貸付料、付加貸付料、消費税、動産総合保険料、保証保険料	22	42,546,145
譲渡代金	取得価格の10%、消費税	3	2,013,552
合　計		25	44,559,697

また、新規貸付けは３件で、事業費は 65,160,000 円でした。

畜種	事業区分	貸付施設等	台数	事業費（円、税抜き）	貸　付決定日
採卵鶏	経営リース	発電機	1	8,030,000	令和4年10月18日
		電気設備（キュービクル）	1	18,070,000	
		発電機	1	8,210,000	
	計		3	34,310,000	
肉用牛（肥育）	経営リース	自動給餌機	8	785,000	令和4年10月18日
		自動給餌機	20	1,156,000	
		自動給餌機	12	862,000	
		自動給餌機	15	1,047,000	
	計		55	3,850,000	
採卵鶏	環境リース	攪拌発酵機	1	27,000,000	令和5年1月16日
合　計			59	65,160,000	

（２）業務委託費等

平成 24 年 10 月 1 日以降に契約し、令和４年度に貸付料が納付されたものを対象に業務委託費及び再貸付手数料が、また、平成 24 年 9 月 30 日以前に契約し、令和４年度に貸付料が納付されたものを対象に再貸付手数料等がそれぞれ交付され、その合計は 234,383 円でした。

区　分	金額（円）	交付対象
業務委託費	27,000	平成24年10月1日以降に契約したもので、令和4年度に貸付料が納入されたもの
再貸付手数料	133,483	
再貸付手数料等	73,900	平成24年9月30日以前に契約したもので、令和4年度に貸付料が納付されたもの
合　計	234,383	

４　家畜集出荷奨励事業（定款第４条第１項第５号事業）

十和田食肉センターの利用を促進するとともに、乳用種及び交雑種の肥育技術の向上と「あおもり牛」の地域銘柄を確立することを目的に、ＩＨミートパッカー株式会社と全農青森県本部に事務局がある「あおもり牛販売促進協議会」からの助成を受けて枝肉研究会を開催しました。

（１）名　　称　　令和４年度青森県配合飼料基金枝肉研究会
（２）場　　所　　十和田食肉センター
（３）開催時期　　令和４年１２月２日（金）

（４）出品頭数　　乳用種１５頭、交雑種１５頭、計３０頭

（５）受 賞 者　　チャンピオン賞（交雑種の部）　有限会社金子ファーム
　　優　　秀　　賞（乳用種の部）　有限会社金子ファーム
　　優　　秀　　賞（交雑種の部）　坂田弘志
（６）研 究 会
　演題：最近における牛枝肉の格付動向について
　講師：公益社団法人日本食肉格付協会十和田事業所　所長　由良強　氏

５　畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（国庫補助事業）

令和２年３月に基金協会内に設置した「青森県配合飼料基金畜産クラスター協議会」において、傘下の畜産経営者の規模拡大と収益性向上を目的に次のとおり事業に取り組みました。

（１）機械導入事業

事業参加者は７名で、事業への参加が承認された機械装置の台数は２６台、事業費（税込み）は 133,216,875 円、補助金額は 60,553,125 円でした。

事業への参加が承認された機械装置と事業費は、別表４のとおりです。

別表４　令和４年度畜産クラスター事業への参加が承認された機械装置と事業費

（単位：台、円）

畜種	No.	機械装置名	メーカー名、型式名	台数	事業費（税抜き）	消費税	事業費（税込み）	補助金額
肉用牛（繁殖）	1	ホイルローダー	日立建機、ZW40-5B	1	4,550,000	455,000	5,005,000	2,275,000
	2	ベールグラブ	丸久製作所、BGⅡ-ZW50	1	380,000	38,000	418,000	190,000
	計			2	4,930,000	493,000	5,423,000	2,465,000
肉用牛（繁殖）	3	堆肥運搬車	三菱ふそうバス・トラック 2RG-FDA60B21S00R	1	7,270,000	727,000	7,997,000	3,635,000
採卵鶏	4	ホイルローダー	日立建機、ZW140-6	1	14,200,000	1,420,000	15,620,000	7,100,000
肉用牛（繁殖）	5	ディスクモア	KUHN、HFT280	1	1,950,000	195,000	2,145,000	975,000
	6	テッダー	Kverneland Group(Vicon)、FX554	1	1,500,000	150,000	1,650,000	750,000
	7	レーキ	タカキタ、TR5580	1	1,900,000	190,000	2,090,000	950,000
	計			3	5,350,000	535,000	5,885,000	2,675,000
乳用牛	8	テッダー	KUHN、GTY6502	2	3,780,000	378,000	4,158,000	1,890,000
	9	ロールベーラー	Deere＆Company、JD-F441R	3	25,500,000	2,550,000	28,050,000	12,750,000
	10	コンビネーションベーラー	タカキタ、MW1011H	2	20,400,000	2,040,000	22,440,000	10,200,000
	11	ラッピングマシーン	McHale、991HS	1	4,600,000	460,000	5,060,000	2,300,000
	12	ベールカッター	IHIアグリテック、ＦＲＢＣ-121ＭＳ1	2	5,200,000	520,000	5,720,000	2,600,000
	13	ロータリー	松山、LXR2420-2L	2	2,280,000	228,000	2,508,000	1,140,000
	14	プラウ	LEMKEN、Jewel 7MV/4	1	6,970,000	697,000	7,667,000	3,485,000
	15	ローラー	HE-VA、CR630HD	1	5,320,000	532,000	5,852,000	2,660,000
	計			14	74,050,000	7,405,000	81,455,000	37,025,000
肉用牛（肥育）	16	自動給餌機	大宮製作所、マスターフィル1000型	1	3,200,000	320,000	3,520,000	1,600,000
	17	レーキ	KUHN、HFT750+	1	3,000,000	300,000	3,300,000	1,500,000
	計			2	6,200,000	620,000	6,820,000	3,100,000
乳用牛	18	モアコンディショナー	Deere&Company、JD-R310R	1	4,361,250	436,125	4,797,375	2,180,625
	19	フロントモアコンディショナー	Deere&Company、JD-F310R	1	3,195,000	319,500	3,514,500	1,597,500
	20	ブロードキャスター	KUHN、AXIS302D	1	1,550,000	155,000	1,705,000	775,000
	計			3	9,106,250	910,625	10,016,875	4,553,125
合計				26	121,106,250	12,110,625	133,216,875	60,553,125

（２）生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

国では、牛肉の国内需要の増加への対応と輸出の一層の拡大を目指すため、和牛の生産基盤を強化することとし、生産者が一定の要件を満たした場合に増頭実績に応じて奨励金を交付する事業を令和２年度に創設し、令和４年度も引き続き事業を実施しました。

①　交付対象者

畜産クラスター計画に位置付けられた取組主体（畜産農家等）

②　交付対象頭数

繁殖目的に飼養されている雌牛の期末頭数(令和４年１２月３１日)から期首頭数(令和４年１月１日)を差し引いた増頭数

③　交付対象牛の主な要件

・繁殖目的に飼養されている和牛(黒毛和種、日本短角種等)

・期末時点で満９か月齢以上、かつ導入時点で満１４か月齢未満

・脂肪交雑と５形質(枝肉重量、ばらの厚さ、ロース芯面積、歩留基準値、皮下脂肪厚)のうち１つについて、育種価又は期待育種価が青森県の上位 1/2 以内

④　取組結果

事業参加者は１名で、期首・期末の飼養頭数を比較した増頭数は１頭であり、この牛は、奨励金の交付対象となる育種価要件を満たしていました。

事　業 参加者	繁殖雌牛の 期首頭数(頭) （令和４年 １月１日時 点）①	繁殖雌牛の 期末頭数(頭) （令和４年 12月31日時点） ②	増頭数 (頭) ②－①	奨励金 交付 頭数 (頭)	奨励金 単価 (千円/頭)	奨励金 交付額 (千円)	備考
1名	36	37	1	1	246	246	期首50頭未満

（注）期首50頭未満：令和４年１月１日現在の繁殖雌牛（９か月齢以上）の飼養頭数

なお、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の参加者については、青森県配合飼料基金畜産クラスター協議会が作成した『畜産クラスター計画（令和４年９月２９日付け青森県知事認定)』にその取組を記載しています。

６　配合飼料価格高騰対策事業

（１）令和４年度配合飼料価格高騰緊急特別対策事業（国事業）

本事業では、配合飼料の価格高騰に対応するため生産コストの削減や飼料自給率の向上に結び付く取組を実践する畜産経営者に対して、配合飼料価格安定制度（以下「基金制度」という。）に基づく補てんとは別に、特別補填金を交付しました。

①　交付対象者

基金制度に加入している畜産経営者で令和５年度末まで経営を継続する者

②　交付対象数量

令和４年度第３四半期（10 月～12 月期）の配合飼料の契約数量又は購入数量のいずれか低い数量

②　補助率

定額、6,750 円／トン

③　取組結果

交付対象者は、複数メーカー契約者を含め延べ 502 名で、交付対象数量は 169,616 トン、特別補填金交付額は 1,144,911,421 円となり、令和５年２月２４日に交付したほか、追加分を同年３月１６日に交付しました。

交付対象者 （名）	交付対象数量 （トン）①	単価 （円／トン）②	特別補填金交付額 （円）③＝①×②	交付年月日
502	169,616.506	6,750	1,144,911,421	R5.2.24 R5.3.16※

（注）1.交付対象者は複数の飼料メーカー契約者がいることから延べ人数で示した。
2.交付年月日の※は追加交付額2,369,250円の交付日

（２）令和４年度青森県配合飼料価格高騰緊急対策事業（青森県単独事業）

本事業では、配合飼料の価格高騰により青森県の畜産経営体の経営が圧迫されていることから、配合飼料の節減、生産性の向上及び生産コストの削減等に取り組む畜産経営体の配合飼料の購入費に対して助成しました。

① 補助対象者

基金制度に加入している畜産経営者で令和５年度末まで経営を継続する者

② 補助対象数量

令和４年度第１及び第２四半期(４月～９月期)の基金制度での補てん対象数量

③ 補助率

定額、2,000 円／トン

④ 取組結果

補助金の交付対象者は、複数メーカー契約者は合算して補助申請したことから453 名で、交付対象数量及び補助金交付額は、それぞれ 235,852 トン及び471,704,000 円となり、令和５年３月１４日に交付しました。

交付対象者 （名）	交付対象数量 （トン）①	単価 （円／トン）②	補助金交付額 （円）③＝①×②	交付年月日
453	235,852	2,000	471,704,000	R5.3.14